

平成 28 年 9 月 15 日 (木)

13 時 30 分～14 時 40 分

報告者 矢頭 恵里香

<進行>健康医療課長

#### 1. 開会

健康づくり推進協議会は原則公開で開催。本日傍聴希望者は無し。

欠席者

- ・一般社団法人恵那医師会恵北医会 会長 丹羽 一善氏
- ・中津川歯科医師会 副会長 伊藤 恒一氏
- ・食生活改善推進員協議会 会長 林 泰子氏
- ・体育協会 会長 丸山 充信氏

代理出席

- ・商工会議所 参事代理 事務局次長 長谷川 暢之氏

出席は過半数で協議会の要綱により会は成立。

#### 2. 委嘱書交付

中津川市副市長より委員へ委嘱書の交付

#### 3. 副市長あいさつ

日頃より保健行政など色々な面においてご支援、ご協力賜り誠に有難うございます。先ほど委員の委嘱をさせていただきました。任期は 2 年ということでご指導お願いいたします。

昨年 2 月に「健康都市」ということで宣言をさせていただきました。まず、その取組みとして「8 万人のヘルスアップ事業」を掲げ取組みを始めたところです。昨年は事業の組立てを行い、今年の 4 月から健康寿命対策室という新たな組織を立ち上げ意欲的に取り組んでいます。

市議会でも 8 万人ヘルスアップに協力をいただいています。9 月議会において、けんぱち君ポロシャツを着て議会本会議を開催していただきました。こうした取組みを通して市民の皆さまにアピールをしています。また議会と執行部による昼食会ということで、けんぱち弁当の試食会を実施しました。大変ヘルシーで美味しくいただきました。実用化に向けてまだ課題はありますが、こうした動きでまず、市民の皆さまに中津川市が健康づくりに取り組んでいることを知っていただき、そして自分自分の健康をつくっていただく、守っていただく、そんな取組みをしていただきたい、そんな思いから少しずつではありますが、取組みを進めさせていただいています。

「健康なかつがわ 21」につきましても、計画に基づき着実に取組みを進めているところで、評価あるいは色々なご提言等も賜りたいと思います。

市民の皆さまに健康寿命をもっともっと延ばしていただいて、生涯現役でご活躍いただくことが一番大切と思っています。今後とも委員の皆様方の色々なご指導、ご提言等を拝借しながら進めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4. 会長・副会長選出

- ・会長 一般社団法人恵那医師会中津川医会 会長 中川 俊郎氏
- ・副会長 社会福祉法人中津川市社会福祉協議会 会長 加藤 出氏

## 5. 中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）あいさつ

只今、協議会会長に指名いただきました中川です。2年間よろしくお願いいたします。

国を挙げてこの健康づくりに取り組む事業が約50年前にスタートしております。2000年（平成12年）に21世紀に向けて「健康日本21」のスローガンを掲げ、国を挙げて健康づくりを推進していく、それに基づき中津川市でも「健康なかつがわ21」ということで、色々な事業をしています。先頃、2015年国勢調査でついに日本の総人口の4分の1が65歳以上の人口になったという統計が載っていました。昔の65歳に比べると今の65歳の方は若くて現役。60歳～74歳の方に「あなたは何歳まで生きていたいか」ということを質問した民間の研究所のデータがあり、それによると、昭和61年では平均値が80歳でしたが、それが今年は85歳になって4年間延びていたそうです。ただ長生きするのではなく、元気で活動できるよう「健康寿命」を延ばすことが一番大事だと思います。そういったことも含めて、この中津川健康づくり推進協議会で色々な意見を出し合って、地域の高齢者あるいは壮年者も含めて、健康づくりに取り組んでいくことが大事ですので、色々なご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 加藤副会長あいさつ

只今、協議会副会長を仰せつかりました社会福祉協議会会長 加藤です。

力不足ですが、皆さんと一緒に市民の健康づくり推進のために尽くしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

## 6. 資料確認

## 7. 議事

議長：中川会長

1)「健康なかつがわ21（第二次）」計画の進捗状況（資料1） 報告者：健康医療課 和田  
各分野の項目別に左から策定時の数値、現状値、目標値、平成28年度の主な取組みを表示。  
現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したもの  
赤字は平成28年度新規事業

<計画策定時より改善項目とH28年度主な取組み>

### ■がん

- ・がん検診の受診率の向上（男胃がん検診、男性・女性大腸がん検診）

20歳の子宮頸がん検診、40歳の乳がん検診を無料とするなどの取組みとともに、今年度は40.50.60歳を対象に市のがん検診の受診意向調査を行っています。未受診理由の把握などにより必要な方へ適切なアプローチを行っていきたい。

### ■循環器疾患

- ・高血圧の割合の減少（男女）
- ・脂質異常症の減少（男女）
- ・特定健康診査実施率
- ・特定保健指導の終了率

地域で広める高血圧予防として、塩分摂取量が多い加子母地区で講座を開催している。H27年度は坂下地区で行った。また、生命保険会社などががん検診・特定健康診査の受診率向上に関する

る協定を締結し、市民に受診勧奨してもらう予定。

#### ■糖尿病

- ・糖尿病有病者の増加の抑制
- ・治療継続者の割合の増加

引き続き健診受診者の要指導者に対しては、生活習慣改善への支援や二次検査を実施していく。また、コントロール不良者に対しては医療機関受診を勧める。

#### ■慢性腎臓病

- ・糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少

引き続き生活習慣改善への支援と必要な方には医療機関受診を勧める。

#### ■栄養・食生活

- ・20歳代女性のやせの人の割合の減少
- ・肥満傾向にある子どもの割合の減少（小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合）
- ・朝食欠食者の減少（3歳児、5歳児、小学生、中学生）
- ・朝食共食者の増加（中学生）

健康な食の普及に取り組んでおり、食生活改善推進員協議会によりバランス弁当であるけんばち弁当を普及。また図書館での野菜摂取向上を目指した展示コーナーの設置。坂下高校生と野菜を使ったおやつを試作。市職員食堂と連携し、けんばち弁当の販売。議会、執行部、職員を中心に販売した。「ぎふ食と健康応援店」の登録勧奨と普及啓発に取り組んでいる。

#### ■身体機能の維持・向上

運動習慣者はなかなか増加が見られない。

介護保険サービス利用者は、平成22年度と比べ0.6ポイント増加しているが、増加率は当初の目標と比べ抑制されている。

9月より坂本地区、福岡地区で4回ずつ健康推進員と歩く機会を設定している。また、生涯学習スポーツ課と連携し、地域にウォーキングコースを設定する。今年度は東地区、坂下地区、蛭川地区での設置を予定している。

#### ■飲酒

- ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少（男性）
- ・妊娠中の飲酒をなくす

適正飲酒量の普及啓発やハイリスク者に対する支援を引き続き行う。

#### ■喫煙

ポスター掲示など受動喫煙防止対策を行っているが、今年度は自治会集会施設の受動喫煙状況調査を実施予定。

#### ■歯・口腔の健康

- ・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加
- ・60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少
- ・3歳児でむし歯のない子の割合の増加
- ・12歳児の一人平均むし歯数の減少

歯・口腔の健康づくり条例（仮称）を制定予定。

#### ■こころの健康・休養

自殺者数は昨年までは減少傾向だったがH27年は増加。引き続き、自殺予防の知識の啓発を行っていく。

## ■市民団体との連携

健康推進員と共に地域住民へ情報提供を行ったり、健康づくり活動を行っている。

## ■連絡会議

健康づくり推進協議会、食育推進会議、CKD 及び糖尿病予防連絡会議、地域職域連携実務者会議の開催に加え、働く世代の健康づくりのため、医療保険者と健康づくり等の協定の締結予定している。

## ■健康情報の提供

ホームページなどによる情報提供に加え、NPO 法人中津川市体育協会が一般向けにけんぱちポロシャツを販売し、健康づくりの取組みのきっかけ作りを行ってもらう。

## <質疑応答及びご意見>

### 【質問 1】 三宅委員（恵那保健所健康増進課 課長）

資料 1 の 3 枚目関係機関との連携の項目で医療保険者とはどういうことを言われているのか。また、人口カバー率 70%とはどういう意味合いですか。

### 【回答 1】 健康寿命対策室 古田

医療保険者とは、日本で最大規模の全国健康保険協会、通称「協会けんぽ」というところが、加入者数中津川市でいくと 22,000 人ほど加入してみえる。そこと協定を結びたい。それだけではなく、共済組合があるが 3 つの共済組合が情報を提供してくださるということで、岐阜県市町村職員共済組合、地方職員共済組合岐阜県支部、公立学校共済組合岐阜支部、この 3 つの共済組合の賛同を得て、その方達の人数を合算すると、人口 8 万人の約 7 割の方がカバーできると考えています。現状では国民健康保険や後期高齢者医療制度加入者は市で把握できている。それ以外の医療保険者を把握していくことを考えています。

### 【三宅委員】（恵那保健所健康増進課 課長）

共済組合は 100%特定健診を実施していると思われるだろうが、実際は 8 割に留まっている。それは何故かという和被扶養者の受診率が低いため。特に被扶養者に対し、市の実施しているがん検診など受診していただけるよう PR してもらえると有難い。

### 【健康寿命対策室 古田】

協定項目の中でも健（検）診受診率アップのためにお互いに協力し合うということも盛り込んでいますので、そのように進めてまいりたいと思います。ご意見有難うございました。

### 【質問 2】 中川会長（恵那医師会 中津川医会 会長）

資料 1 の 1 枚目の高血圧の割合や脂質異常症の割合は、治療している方なのか、どういう対象ですか。

### 【回答 2】 健康医療課 矢頭

こちらのデータにつきましては、中津川市国民健康保険特定健診を受けられた方を対象としており、治療の有無に関わらず健診結果の数値のみで挙げています。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

そういうことですね。それが、大事だと思うんですね。治療していても適正な血圧に保たれていればそれでいいと思います。だからこれは、治療の有無に関係ないということですね。

【健康医療課 矢頭】

そうです。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

わかりました。

他には何かご意見ありますか。では一通り説明していただいて、また後ほど何かございましたらご意見伺いたいと思います。では、資料 2 の説明をお願いします。

<死亡統計から見る健康課題>資料 2 【健康医療課 和田】

平成 26 年における 65 歳未満の死亡は 88 人で全死亡総数 980 人の 9.0%を占めている。男性では 57 人（11.2%）が 65 歳未満で死亡している。

死亡原因の内訳を見ると、37.5%が悪性新生物で死亡している。悪性新生物の部位別死亡割合では男性では気管、気管支及び肺が 25.0%と高く、次いで大腸と膵臓が 18.8%と高くなっている。また、女性では乳房、子宮の割合が 17.6%と高い。

他の死因では男性の心疾患での死亡が 14.0%、男女とも自殺が 9%前後を占めており課題となっている。

働き盛りの年代での死亡は、経済的損失が大きく社会保障費の増大にもつながるため、壮年期の健康づくりを医療保険者・事業所等と連携して、健康づくり推進の環境を整備していく必要がある。

こういった現状から、働き盛りの年代の心と体の健康づくりをそれぞれの立場でどのように支援していくことができるかご意見を伺えたらと思います。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

それぞれの立場でどのように支援していただけるかということですので、それぞれのお立場でご発言いただけたらと思います。筒井委員のほうからお願いします。

【筒井委員】（中津川市薬剤師会 会長）

薬剤師会会長の筒井と申します。

近年薬学的な話題と言いますと、非常に高薬価な悪性新生物に対する薬剤であったり、そういったものが市町村レベルではなく、国単位の大きな医療費の高騰の一つの原因となっています。確かに効果は発揮するため悪性新生物による死亡率にも大きく関わってきます。これらの薬剤をどのような部分でどのような形で使いながら、それから財政の部分とどうバランスを取っていくか、薬剤師としても注目しています。財政という限られた部分の中で治療をしていくという難しい局面ですが、乗り切っていかななくてはいけないと感じています。私からは以上です。

【丸山委員】（中津川市健康推進員会 会長）

健康推進員というのは健康づくりの市の代表みたいなもので、自殺に関しては診療的なもので健

康推進員としてはどうしてもございませんが、体のほうとしましては市の健診を受けていただくよう市民に声かけができると思います。あとは健康づくりのために体を動かすことを勧めていきたいと思います。タバコについては肺がんにならないように規制をするなどの運動をすることなどはできるかと思います。

**【郷田委員】（中津川市社会教育委員の会 会長）**

自殺が1割を占めているのが気になるんですが、心が病んでいる人は確かに多いと思うので、病まなくてもいい世の中づくりがとても大切だなと思います。心が病まないというのは、小さい頃から幸せを感じながら当たり前の生活ができるという社会づくりをしないと、歳を重ねてからでは遅いようなところがあるのかなと思います。今、社会教育のほうで一つ大切にしているのが子育て。社会全体で良い子育てをしていく、皆で子育てをしていく、そういう中で普通の幸せを感じながら生きていける社会づくりをしていけば、本当に気の長い話なんですけど、心を病む人が減ってくるのではないかなと思います。

**【長谷川委員代理】（中津川商工会議所 事務局次長）**

ご承知のとおり商工会議所というのは、市内の事業所の経営者からなる会員で組織される団体です。皆様もご承知だと思いますが、近年、従業員の健康管理を経営的な視点で捉える健康経営というのが言われはじめております。企業の従業員への健康配慮の必要性が高まってきているという状況です。生活習慣病などにより働いていただいている従業員の方が倒れてしまうと、色々なリスクがあるわけで、企業においてもリスクマネジメントという部分でも大変重要であると感じております。当所としましてもこういったことを会員の事業所の皆様宛に、従業員の健康管理の周知など協力させていただけるかと思います。また、以前からですが従業員の方の毎年1回の一般健康診断、これにつきましては労働安全衛生法に定められているものですがこういった機会や、特殊健康診断の機会を提供させていただいております。それに加え、年に2度、生活習慣病の健診の機会をとということで、皆様方に案内させてもらい、経営者をはじめ従業員の方に受診していただいております。

**【神谷委員】（中津川市国民健康保険運営協議会 代表）**

この頃の検診ですが、以前は地域でやっていたのを、全部中津でやっているのですか。今、それぞれの地域を回っていますでしょうか。

**【健康医療課 福田】**

苗木地区と落合地区につきましては、このところがん検診を受診される方が少なくなりまして、調べてみますと中津の健康福祉会館で受診されている方が多いことが分かり、苗木と落合についてはこちらの健康福祉会館のほうへ一括させていただいております。

**【神谷委員】（中津川市国民健康保険運営協議会 代表）**

毎年受診していた方から、足が無いから中津まで行けないという話を聞いたので、もう少し皆が受けられるような体制にさせていただけると有難いと感じております。

**【三宅委員】（恵那保健所健康増進課 課長）**

まず、がんのほうですが、岐阜県で話題にしているのが、胃がんの女性が岐阜県は全国でワース

ト2位ということで、10万人に対して8.2人ということで下から2番目ということで、県のほうでその対応について協議しているという状況でございます。

次に自殺なんです、先ほどのデータにもありますが自殺者数が増えてきているような状況でございますが、保健所のほうでも精神保健相談などもやっておりますし、弁護士と心理士を含めた相談会も実施しておりますので、市のほうでも色々なところでPRしていただきました、自殺の可能性のある方は保健所のほうにもつなげていただければなと思います。

【加藤副会長】（中津川市社会福祉協議会 会長）

社協の事業所は10箇所以上あり、そこに働いている職員は正規からパートさんまで含め約260人の職員がおりますが、健康づくりについて特に何かしているというわけではないので、もう一度、社協の職員の健康づくりについて皆さんと情報を共有しながら進めていきたいと思っております。

それから、先ほど食生活改善推進員協議会をしっかりとしていきたいという話がありましたが、未設置のところもかなりあると思いますが、そういうところはどういうふうに取り組んでいったらよいか、今後組織を強化していくという考えがあるのかお聞きしたいと思っております。

【健康医療課 糸井】

食生活改善推進員協議会のほうは合併する前に恵北のほうであったのが、付知と坂下、福岡です。福岡は今年無くなってしまいました。中津地区には5つあります。栄養教室は各地域というより中津川市で募集して養成しておりますので、各地域にはない状況ですが、また今後要望のある地域では栄養教室を開催して、食生活改善推進員の育成ができればと考えています。

【加藤副会長】（中津川市社会福祉協議会 会長）

今年の新規事業で食生活改善推進員協議会によるけんばち弁当の普及・推進を図ってきたいという項目がありますけれど、それにしても協議会の未設置のところもありますので、できれば全地域に食生活に関心のある方々で協議会を設置してもらえると良いかなと思います。是非そんな方向で進めていって欲しいと思っております。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

病気にならないようにするためには、食事は基本的に一番大事なものだと思っております。

一時、日本でも自殺者が全国で3万人を超えるような時代がありました。最近では減りつつあるようですが、ご存知のとおり昨年の11月から、各事業所でメンタルヘルスチェック、精神面の健康状態をチェックする制度が始まりました。市の職員にもメンタルヘルスチェックも行われるわけですね。産業医もいるわけですね。学校の教職員もやることになっています。そういったことが心の健康というか早めに対応して、なるべくこういう不幸なことを減らすことができれば、それにつながることであればと思います。

資料1と資料2の説明が終わりました。それに関して、他に質問などございませんか。

では、7番のその他のところにまいります。

7. その他

【健康医療課 永治課長】

7番のその他ですが、お手元に健康福祉まつりのチラシをお配りしております。11月6日日曜日

に東美濃ふれあいセンターで行います。主催は中津川市ですが、この協議会も共催に加わっておりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

けんばちポロシャツについてですが、9月1日から体育協会のほうで販売をしていただけることになりました。欲しい方がみえましたら体協の事務局までご連絡いただければ注文できますのでご利用ください。

150、SS、S、M、L、LLまでが1,600円、3Lから5Lまでが1,800円となっております。カラーは24色です。キッズサイズもあります。今のところ半そでのみです。

【中川会長】(恵那医師会 中津川医会 会長)

他には何かございませんか。

三宅委員に質問ですが、がんの種類によって検診の効率の良いがん、あまりがん検診をしても予後に差ほど影響を与えないがんもあると思います。例えば前立腺がんは血液の検査でかなり早く見つかるので有効性が高いと思います。大腸がんも良い成績が出ていると思いますが、肺がんや胃がんなどをみたときに、例えば毎年肺のレントゲンを撮ることによって、肺がんがどれだけ早く見つかって、死亡率を減少させることにつながるか、放って置いても咳が出てきたり症状が出てきてからがんが発見されたのと比較した時に、どれほどの違いがあるのかというデータが割合少ないと思うんです。そのあたりについてご存知のことがあったらお聞かせください。

【三宅委員】(恵那保健所健康増進課 課長)

前立腺がんは見つかったからの治癒率がかなり高く、今言われたように肺がんは見つかった時にはもう遅いというデータも出ておりますが、そのあたりと検診とのつながりについては私もよく分からないところですが、胃がんですと検診よりもピロリ菌の検査をしたほうが有効ではないかということで、他の自治体で実施しているところもあるようです。

県としましてはとにかく検診受診率を上げて早期発見、早期治療につなげていきたいと考えております。

【中川会長】(恵那医師会 中津川医会 会長)

検診率を上げることによって、どれだけ死亡率を下げるができるかという検証はまだ十分ではないということですね。

【三宅委員】(恵那保健所健康増進課 課長)

ただ、国民栄養調査の統計によると検診を受けている方と受けていない方のデータを比較することはありまして、検診を受けていない方は偏食しているとか喫煙をしているとか生活習慣が乱れている方が多いということなので、検診率を上げれば生活習慣も良くなると考えているようです。

【中川会長】(恵那医師会 中津川医会 会長)

そういったことに少しでも関心を持ってもらうという部分では意義があるかもしれないですね。他にございませんか。

【加藤副会長】(中津川市社会福祉協議会 会長)

8万人ヘルスアップ事業をこれから展開していただきたいわけですが、8万人の人口に対して保

健師さん、栄養士さんは足りているのか、どんな状況にあるかお聞きしたいのですが。これだけの事業に対応していくにはスタッフが必要だと思います。足りていればいいと思いますが。

**【健康医療課 佐藤】**

現在、健康づくりで動いている市の保健師は14名です。内訳として福岡、付知、坂下に2名ずつの6人と、本庁に8人います。あと育児休暇中の者が3人います。あと栄養士は健康医療課には管理栄養士1人、栄養士1人、嘱託の管理栄養士が1人おまして日々活動しています。退職者がおりましたも現在補充の予定はありませんので、今いる人数の中で工夫して活動していくしかないと思っています。その中で何を大事にして、病気が重症化していかないようにとか、あと健康づくりの中でも健康推進員さんとか食生活改善推進員さんや地域の方々の協力を得ながら広がっていくよう工夫しながらやっていきたいと思っています。

**【健康寿命対策室 古田】**

健康医療課に専門職としては保健師、管理栄養士、歯科衛生士はおりますが、それだけでは健康づくりは進んでいかないと思っております。市役所内の連携というところを市長さんもおっしゃられて、今、商工会議所の長谷川さんがおっしゃられたように、健康経営に関しては工業振興課が担当ですので、そういうところとコラボするとか、8月に実施しました図書館での展示では、図書館の職員と協力し合って、健康づくり宣言も市民の方に書いていただくなど連携した動きをしております。健康医療課だけでなく庁舎内の職員もどんどん減っております。これ以上増やすようなことは財政的に難しい面もありますので、協力し合ってできるところをそれぞれでやっていくという体制をとっていかうと思っております。

**【加藤副会長】（中津川市社会福祉協議会 会長）**

分かりました。健康づくりは昔から栄養と運動と休養と言っております。今おっしゃったように、庁舎内の横の連携、特に運動なんかは文化スポーツと連携をしっかりといただかないと、なかなか地域においては私が見るからにはあまり運動していないんじゃないかなと思います。地域の皆さんが健康づくりの意識を高めてもらうために、是非、色々な分野の人達との連携をしながら進めていただきたいと思います。

**【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）**

11月には健康福祉まつりもありますので、催し物を大いに活用してもらおうといいですね。

**【郷田委員】（中津川市社会教育委員の会 会長）**

健康福祉まつりでは、けんぱち弁当やけんぱちポロシャツの販売はありますか。

**【健康寿命対策室 古田】**

けんぱち弁当については、現在調整しております。三菱電機ライフサービス（株）「菱風荘」が販売をしていただけるとつい最近回答をいただいたところです。

けんぱちポロシャツについては、今のところ体育協会さんにはお話しはしていませんが、体育協会さんの事務所が中津川公園内競技場にあり、まつりの会場である東美濃ふれあいセンターにも窓口がありますので、けんぱちポロシャツを見ていただいたり、注文は可能だと思います。種類が多いため

在庫管理ができないため注文販売のみでやっていただいております。

【郷田委員】（中津川市社会教育委員の会 会長）

あと、例えば、駅前にカーブスというフィットネスクラブなど業者は健康福祉まつりに参加できないですか。大勢の方がカーブスに通って筋力アップなど一生懸命健康づくりをしてみえます。効果もチェックしてもらえますし、機械を持って来てやってくださると思います。そういう他の方の協力も得ながらやっていけるとよいと思います。

【健康医療課 和田】

今年は難しいですが、来年はご相談させていただけたらと思います。有難うございます。

【中川会長】（恵那医師会 中津川医会 会長）

それでは、皆さまに色々なご意見をいただきましたので、これで閉会したいと思います。

## 8. 閉会

【加藤副会長】（中津川市社会福祉協議会 会長）

短時間のうちに色々なご意見が出されました。是非とも市民の健康づくりのために、それぞれの立場でご努力いただければと思います。本日はお忙しい中大変ご苦労さまでございました。有難うございました。